

空と緑、新、呼吸する

目次
応報

たまかわ

'96
2
No. 354

未来の夢に向かって、
テイク・オフ!!

(1月15日、成人式)

111人が、はたちの門出

「なぜ」「どうして」と、常に自分に問いかける



1月15日(成人の日)朝から汗ばむほどの小春日和のなか、平成8年の成人式が村就業改善センターで行われ、昭和50年4月2日から昭和51年4月1日まで生まれた新成人111人(男47人、女64人)が、真新しい背広や振り袖に身を包み、「はたちの」自覚を新たにしました。

式では、はじめに車田村長が「郷土玉川村の豊かですばらしい未来を築く担い手としての自覚と誇りを持ち、新しい村づくりへの積極的な参加と、みなさんが個人として、職業人として、あるいは社会人として一層の研鑽を積まれ、意義深い人生を創出されますことを期待します」と式辞を述べたあと、代表の須藤かおりさん(川辺)に成人証書と記念品を手渡しました。

このあと、塩田征二郎村議会議長、齋藤泰三村選挙管理委員長から、それぞれ祝辞がありました。

これに代えて新成人を代表して草野達也さん(北須釜)が「この感激を一生忘れることなく、

数々の尊い教訓を心に刻み込み、より良き社会人になるよう改めて誓います。私たち社会の一員として参政権を与えられ、政治への参加を認められたのですから、義務や責任を理解し、社会人として恥ずかしくないよう努力してゆきます」と謝辞を述べました。

式が終了後「明日の夢に向かつて飛び立とう」と題して、講師・一龍斎貞花師匠の記念講演が催され、出席者は師匠の巧みな話に聴き入っていました。

これから社会の一員として飛び立つみなさんの前途は、大きくさまざまな可能性に満ちています。それと同時に、さまざまな困難や悩みもつきまとうことでしょうが、おおいに悩み抜いてください。悩み抜けば必ず答えが見つかると思います。

そして自分の青春を、人生を勝ち取っていきましょう。

はたちの感想文

「かくせない心を、飾らない言葉でいえる」新成人となられた方々のうち次の8人の方から感想文が寄せられましたので紹介します。

新しく成人の仲間入りをするわけですが、私自身「はたち」ということで特別に意識することはありません。「はたち」というものは一つの通過点としてとらえているので、まだ、自分が社会の一員となったという自覚はありません。私が描いていた「はたち」像というのは、精神

す。つまり、自分なりの考えを持ち、その意見をはっきり言える人間になりたいということだと思います。それが責任ある行動へとつながるのではないのでしょうか。また、自分を他人の立場に置いて考えるようになりたいです。自分の主観だけで考えるのではなく、別の角度から物事が見え

いものだと思います。あきらめたらそこで終わりで考えるからです。だから自分自身に限界を設けず、自分の可能性を信じて挑戦してゆきたいと思っています。無謀と勇気は紙一重だと思つので、そこを見極めながら、変に妥協して後悔することは嫌なので「今を生きる」というこ

まわりに左右されず 自分の可能性を信じて 挑戦し続けたい

るような広い視野を持てるようになるれば、今までは違った生活ができると思います。そして、その中から「何か」を得ることができれば幸いであると思います。

私は人からよく「負けず嫌い」だと言われますが、それは、否定的というか、良くない方を想像しますが、私は「負けず嫌い」こそが生きていく上で欠かせな



近内 正吉 (小)

的に確固たる信念を持つているものだと思っていました。いざ自分が「はたち」になってみると、まだ、そのような考えは全くなく「まだまだ子供」だというのが現在の心境です。

今思うことは「はたちだから〇〇〇」という考えにとらわれないで、回りに左右されずに自分らしくありたいということ



溝井 久美子 (小高)

自分で 選んだ道を 歩いてゆく

境の中で、それが当たり前のようにならなければなりません。高校を卒業して短大に進み、自分では大人に近づいた気分だった事もありませんが、まだまだ甘えん坊で子供っぽい自分に情けなくなること少なくありませんでした。

成人式を迎え、私は成人者となります。まだ実感がありません。社会の正式な一員となることが嬉しくもあり、とても不安でもあります。これからは温かい所ばかりに留まることはでき

の資格を与えられることを嬉しく思います。そして、立派な社会人になろうと思います。それは、私自身が精一杯の力で社会に貢献すること、充実した毎日を大切に過ごすことが、まず第一だと思います。

最後に、今まで私を支えてきてくれた家族に心から感謝します。これからは私も家族を支えていきたいと思っています。これからはよりよくお願いします。

気がついてみたら20年も生きていました。そんな感じですが、「まだ20年」というのかもしれない感じがします。今まで生きてきた私は、一人では何もできなかった私でした。一人では簡単な世間に認めてもらえないことのない「私」でした。いつも私のまわりには、家族、友人、恩師などの温かい助言や指導があり、苦労という苦労を知らずぬくぬくとした居心地のよい環

「成人者」ということについて、不安ばかり挙げてしまいました。が、逆に、今まで出会えなかった様々な人や出来事に会うことができるだろうと思う。楽しいことばかりではないと覚悟はできていますが、苦しく悲しいことばかりでもないと思っています。私は社会の正式な一員として

私は「成人式」を迎えるにあたり、はつきりと「自分は成人である」と自覚をした。



矢部 純子さん (吉)

大人であり、自分の責任は自分でとらなければならないのである。そのため保護者欄は必要なくなる。こういった面でもやはり「成人式」の意味の深さを知る。

私にとって「成人式」とは遠い遠いものと考えていたが、その年になり「年月の過ぎるのは早いものだ」と実感した。今までは何でも親に頼ってきた。しかし、これからは自分でやるべき

ことは自分でやらなければならない。いつまでも親任せでは子供なのである。それに加え、常に自分の立場をよく考えて行動したい。

本当の大人とは人の心の痛みがわかる人間

私はこの「成人式」を機会に、あらゆる面で物事をよく考えて行動し、一人前の大人としての自覚を持って生きたいと思う。

小さい頃、成人式を迎えた人々を見た時、とても大きな人に見えたような気がした自分が今、実際のこの立場にたつて歩んできた20年を見つめなおしてみると、様々な思いが湧きあがってくる。

感など持ち合わせていないというのが現状である。そんな私を寛大に受け止め、支えてくれている家族には本当に感謝している。そして多くの人々に支えられてきた20年だったとつくづく思う。

成人になったこの感激をいつまでも忘れずに

まず最初に、この20年間私を温かく見守り、そして育ててくれた両親や家族に「ありがとう」と言いたいと思う。今の私には甘えがあり、成人としての責任

を、過去を振り返ると同時にこれからの自分にも目を向ける機会にしたい。考えてみると今までは、小学校、中学校、高校と

う節目を迎え、少しずつ社会人としての自覚も養っていききたい。何十年たっても、今自分が感じていることを忘れずにいたいと思う。

様々なことにチャレンジして豊かな経験を積みたい

成人式を迎えるにあたって、特別これといって実感があるわけではないのですが、社会の一員として、自覚と責任を持つて

行動したいと思います。以前、二十歳という年齢がすごく大人に感じましたが、実際自分がその年齢になってみても何も変わっていないような気がします。た

だ学生の時とは考え方が違ってきたように思えます。でも、二十歳になったからといって、特別何が変わるといこともない

添田 仁子さん (小高)



成人といっても、今ひとつピンとこないけれど、これから生きてゆくうえでのひと区切りと

二十歳になるまでは、すごく「二十歳」というものにあこがれて



須藤 かおりさん (川辺)

ていたというか、どんな感じなのだろうと思っていました。でも、実際その歳になってみると、「こんなものか」というのと、「やっと二十歳になったんだ」と

いうのが半々でした。でも、一人の大人として認められる訳ですから、今までのように、ただ思い付いたことを行動に移すのではなく、もう少しそのことについて考えてから行

選挙権のことについて思うことは、これからの日本の問題を前向きに考えている人を選びたいと思います。私たちが住む国なので、一つでも多くの問題を解決して、安心して住め

成人式を迎えるといっても、あまり実感が湧いてこない。それは多分、両親に支えられて何不自由なく生活してきたからだろう。

が持てるように、また、周囲の方々にも気を配り一社会人としての自覚を持ちたい。社会の一員としての抱負の一つは「いつでも優しくありたい」ということだ。それは、私も来年からは学生ではなく、就職して社会人になるからだ。私は在学中に、公務員についてのこと

二十歳になったから、もう子供っぽいばかげたことはやめて大人になろうという人間に、私は絶対なりたくない。慣例や回りの年長者の考えをうのみに



小原 正嗣さん (南須蓋)

し、保守的な立場に身をおくことはしたくないということである。自分より年上だから、親だから、また先生だからといって必ずしも正しいとは考えられない

い。年上の意見も、子どもの話も大切に、自分なりの判断をできる人間になりたいと思う。大人というよりは人間として考えて、行動した方が柔軟だし、大

るようにしてほしいものです。最後に、二十歳になると新聞などには「少年A」「少女B」でなく実名で載るようになるので、くれぐれも注意してほしいです。

だが、成人式を迎えるからといって、立派な大人とは限らない。両親からみれば、まだまだ子供だと思ふ。

うことを学んだからだ。公務員とは限らず、民間企業で働くにあたって、優しく接することは同じだろうから。

二十歳を機会に今までを振り返り新たな出発を

きな視野を持って生きていけると思う。この二十歳というのは、今までを振り返り、これからのことを考えていくにはとてもよい機

感謝をしたい。「ありがとうございます。そしてこれからも、よろしくお願ひします。」



石井 久美子さん (小高)

人に優しく素敵な大人になりたい

かりと行動しなさい」と言った。私は母の言葉を聞いて、社会の一員として認めてもらえたのだと考えた。しかし、今まで両親に支えられた分、一人で自立できるのだろうか不安になってしまふこともある。でも、誰もが一人でその不安を乗り越えて、立派に自立していくのだから、私も自然に自立できるだろう。そして、自立できたのなら自ら積極的に行動し、責任

が持てるように、また、周囲の方々にも気を配り一社会人としての自覚を持ちたい。社会の一員としての抱負の一つは「いつでも優しくありたい」ということだ。それは、私も来年からは学生ではなく、就職して社会人になるからだ。私は在学中に、公務員についてのこと

責任

はたちと選挙権

責任ある大人の一人として
大切な1票の重みを感じてください

はたちになると「選挙権」を行使することができます。この選挙権とは、文字通り、わたしたちが選挙に参加できる権利のこと。これは、政治に参加する機会を与えられたことであり、社会の一員としての責任をもたされたことでもあります。

しかし、このところ選挙のたびに報じられているのは、投票率の低さです。しかも、棄権する人の多くは、20歳代の若者なのです。将来の日本を支えていく皆さん。これからの政治の行方、わたしたちの生活の行方は、あなたの1票が決めるものです。選挙のときは、一人の大人として、責任ある1票を投じるようにしてください。

3月24日(日) ■ 玉川村議会議員選挙

任期満了による玉川村議会議員一般選挙が、3月19日(火)に告示され、3月24日(日)に投票が行われます。この選挙は、これからの村づくりを任せる議員を選ぶ大切な選挙であり、私たちにとって身近な選挙です。有権者ひとりひとりの正しい判断で、自覚ある一票を投じたいものです。

投票できる人

昭和51年3月25日までに生まれた人で、平成7年12月18日以前から引き続き村内に住所があり、住民基本台帳(住民票)に登録されている人。

村内で転居した人

選挙人名簿に登録されている人で、平成8年3月4日以後に村内間で住所が変わった人は、旧住所地の投票所で投票することになります。

投票時間

各投票所で投票できる時間は、午前7時から午後6時までです。

不在者投票

選挙当日、何らかの都合で投票所に行って投票することができない人は、不在者投票をすることができます。

■投票できる期間…告示日(3月19日)から投票日前日(3月23日)まで
土曜日でも投票できます。

■投票時間……午前8時30分から午後5時まで

■投票場所……玉川村役場(小高字中畷9番地)

■持参するもの……印鑑と入場券

問い合わせ先——役場総務課(☎57-3101 内24)

選挙人名簿の縦覧期間

- 平成8年3月19日と20日の2日間
- 時間 午前8時30分～午後5時

立候補予定者説明会

- 平成8年2月27日、午後1時30分から保健センターにて



義務

国民年金への加入

学生も例外ではありません
20歳になったら国民年金に加入しよう

公的年金が、生涯にわたる生活保障としての機能を十分発揮できるのはなぜ? それは、現役世代が納める保険料がいまの高齢世代の生活を支え、現役世代が高齢になったときには次の世代が納める保険料が生活を支えてくれる……という「世代間扶養」の仕組みになっているからです。

このため、20歳以上の方は国民年金への加入が義務づけられています。もちろん、学生の皆さんも例外ではありません。「年金なんてもっと先の話じゃないの」——年金は老後支給される以外にも、思わぬ事故や病気で障害が残ったときにも支給されるのです。国民年金への加入は20歳になったいまがスタート。

成人を迎えた皆さん、国民年金への加入をお忘れなく。

成人を迎えた皆さん。これからは、「自分は社会のために何ができるか」といった社会の一員としてのビジョンをもつことも大切です。社会のために……といってもその手段はさまざま。ボランティアなどで汗を流すことも立派な社会貢献ですし、献血だってその一つの手段です。

献血は、ただ単に血液を提供するということだけではありません。あなたの血液が、輸血を必要としている患者さんの生命を救うのです。「ときどき街角で献血を呼びかけているのは知っている。でも、いま一歩献血に踏み切れなくて」というあなた。だれかのために何かをする……そんなあなたの思いやりの心を、献血という形でぜひ社会に役立ててください。

だれかのために何かをする
そんな思いやりの心も大切です

思いやり

はたちと献血



社会 福祉

玉川村緊急通報システム

1月19日

運営開始記念通話式

ひとり暮らしの方が 安心して暮らせませます



通話式であいさつをする車田村長。右は利用者の仁井田チヨヲさん

玉川村緊急通報システム運営事業概要

このシステムは、ひとり暮らしのお年寄りの方などが、家庭内で、緊急事態に陥ったとき、ボタン一つで緊急通報が作動、アイネット緊急センターに通報され、同センターが、消防署や警察署、近所の協力員、親類などに連絡する仕組みです。
■事業対象者——おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者や寝たきりの高齢者の方。さらにひとり暮らしの重度身体障害者の方などです。

玉川村緊急通報システムの運営が開始され、加入者の仁井田チヨヲさん（80歳、川辺、宅で、記念通話式が行われました。式では、車田村長が「緊急通報システムにより、ひとり暮らしの不安を解消し、安心して暮らすことができます」とあいさつ。村からの委託を受けて業務を担当する共同組合アイネット（会津若松市）から概

要が説明された後、車田村長と仁井田さんが、アイネット緊急センターと、緊急通報用電話機により記念通話を行い、システム始動を祝いました。村内のひとり暮らしの方12名が加入してスタートしたこのシステムは、県内の46市町村で、1,300台以上が加入設置されています。加入申し込みなど詳しくは役場住民課までお尋ねください。

寝たきりの方々へプレゼント！！

12/11～12/25 東京玉川会が「ふるさと福祉事業」

昨年の暮れ、村社会福祉協議会が、村内の寝たきりの方々22名の皆さんに、紙おむつなどを贈りました。

これは、東京玉川会（熊田藤作会長）が「ふるさと福祉事業」として、一昨年から村社会福祉協議会に委託して行われているもので、今回は同協議会の「歳末たすけあい運動」と併せて実施されました。

紙おむつを贈られた方たちは「大変助かります。本当にありがとうございます。年の瀬の温かい贈り物に大喜びでした。



民生委員より紙おむつを贈られる高原トメさん（小高）



玉川スキークラブ（仁井田健会長）と村公民館の共催によるスキー教室が、磐梯国際スキー場（猪苗代町）で開かれました。参加した36人は、クラブ員の指導を受けながら、青空のもと白銀に歓声をこたえさせ、元気にスキーを楽しんでいました。

2/4

平成7年度
スキー教室

白銀に 歓声こだま

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—
役場企画調整課
広報係まで

玉川村 消防団

平成
8年

出初め式



地域防災の決意新た！！

平成8年玉川村消防団（大竹勝義団長）の出初め式が、1月5日（金）須釜小学校校庭で行われ、団員と婦人消防隊員ら270人が参加しました。厳しい冷え込みのなか、団員らは晴れやかに、そしてキビキビとした動きで通常点検や機械機具点検、分列行進などを展開し、今年一年の地域防災への決意を新たにしました。

●消防庁長官退職報償伝達者
【15年以上25年未満勤続団員】元分団長 塩田真一



盤上に火花散らして

第33回
新春恒例村民囲碁・将棋大会

新春恒例の村民囲碁・将棋大会が就業改善センターで開催され、小学生からお年寄りの方までが参加し、クラス別に分かれて息詰まる熱戦を繰り広げました。入賞者は次のとおりです。（敬称略）

	級	優勝	準優勝	第3位
囲碁	A	塩澤 正勝	小原 澄夫	首藤三千雄
	B	安部 孝	草野 正博	瀬谷 雅俊
	C	塩澤 美帆	宗形 翔	増子 博之
	D	大槻 享平	宗形 麻美	塩澤 結花
将棋	A	矢吹 義隆	双里 正輝	渡辺 宏
	B	関根 秋雄	双里 正司	関根 一之

今年1年間の活躍誓う！

新年互礼会に約100人が出席

平成8年新年互礼会が、マーヴェラス末広で開かれました。村で初めての開催となる互礼会は、村と村商工会が主催したもので、村内各界の代表や地元選出の国会議員、県議会議員など約100人が出席して盛大に行われました。

車田村長と古寺商工会長があいさつをしたあと、来賓の方々より祝辞が述べられました。このあと、出席者全員の紹介が行われ、佐久間村収入役の音頭で乾杯し、祝宴に入りました。

祝宴では、思い思いに新年のあいさつを交わしながら親睦を深め合い、互いに今年1年間の健康と活躍を誓い合っていました。



今年1年間の健康を願って万歳三喝！！

2月3月の健康ごよみ

- 2月
- 16日(金) 1歳6ヶ月児健診 午後1時30分～2時
 - 20日(火) 成人病予防教室 蒜生農構センター 午前9時30分～12時
 - 21日(水) 母親教室 午前9時15分～9時30分
 - 22日(木) 成人病予防教室 午前9時30分～12時
 - 24日(土) 乳がん自己検診法講習会 午前10時～12時
 - 29日(水) 成人病予防教室 中生活改善センター 午前9時30分～12時
- 3月
- 6日(水) 成人病予防教室 岩法寺農構センター 午前9時30分～12時
 - 8日(金) 乳幼児健康相談 午前9時30分～10時
 - 13日(水) 成人病予防教室 午前9時30分～12時
 - 14日(木) 3種混合予防接種 午後1時～1時30分
- 保:保健センター 須公:須釜公民館 受:受付時間

伝言板

福島空港

第3回 春の空港まつり

- 日時 3月31日(日)AM9:30～PM4:00
- 場所 福島空港・ターミナルエリア
- 主催 春の空港まつり実行委員会

★当日は、「2,500メートル滑走路どこまでできたかなー延長工事見学会」や、「工事用重車輛の展示」「税関なんでも発見!!」「GO! GO!ドローパー」そして、「ウルトラマン・ショー」など、イベントが盛りだくさん!ご家族みんなで、遊びに来てください。

「広報たまかわ」では、あなたの★思いでの場所★お気に入りの風景★自慢したい風景…そんな「心の風景」写真を募集中!!

場所の説明やエピソードなどを250字程度にまとめて、広報係までお寄せください。

お誕生おめでとうございます

(12月16日～31日届出分)		
地区	出生児氏名	保護者名
中	小針唯人	武彦
岩法寺	舟山 創	知樹
〃	矢部沙也加	伸夫
〃	大竹まどか	健二
南須釜	塩澤真実	正保
(1月届出分)		
川 辺	味原 沙記	浩之
〃	須藤 南	昭
〃	坂本 京平	由一
小 高	矢吹 涼華	俊幸
中	永林 美空	修
岩法寺	溝井 雄貴	雄一

おくやみ申し上げます

(12月16日～31日届出分)			
地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
蒜 生	藁谷正之助	74	八郎
南須釜	石森 ナツ	73	ナツ
〃	草野 刃次郎	82	一智
北須釜	宗形 勝吉	60	浩勝
(1月届出分)			
中	小針 信作	92	千代之助
岩法寺	大竹 フミヨ	80	徳良
〃	須釜 ハツヨ	73	竹松

動物の亀にもあらむ悲しみか死の直前の涙を見たリ
米つくるわが大きな手を誇りとし子らも育てぬ過去の幾年
クリスマスイブにマッチを灯すといふ少女出て来よこの暗き世に
又一人雪を払いて友来たり俄か仕立ての宴げはじまる

玉川村短歌会佳作抄 村公民館

小針 守次
柳沼 ツヤ
溝井はなよ
真弓五三男

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 蒜生の藁谷八郎さんから 2万円
 - 小高の秋山節子さんから 3千円
 - 中の小針千代之助さんから 10万円
 - 岩法寺の大竹良信さんから 2万円
 - 〃の須釜竹松さんから 2万円
 - 北須釜の宗形浩勝さんから 2万円
 - 第4回須釜芸能の集い(代表 石森定吉さん)の際チャリティー益金として 3万円
 - 横浜市の石森吉雄さんから 1万円
 - 東京玉川会から「ふるさと福祉事業」(第2回目)として 4千円
- (村社会福祉協議会)

村のようす

- 8年1月1日現在)
- 1,714戸(-55)
- 7,623人(-99)
- 3,737人(-73)
- 3,886人(-26)

今月の納税

- 固定資産税 4期分
 - 国民健康保険税 8期分
 - 国民年金 2月分
- 【納期限は2月26日(月)です。忘れずに納めましょう】



(2/2 泉保育園にて)



(同左)



(2/3 いずみ幼稚園にて)

節分・「豆まき行事」より

スポーツ

バウンドテニス教室 参加者を募集!

村公民館

テニスと卓球が合体した、だれでも簡単にできるスポーツ、バウンドテニス教室の参加者を募集しています。冬の運動不足解消に、気軽にバウンドテニスを楽しんでみませんか。

- ◆玉川村民体育館会場
開催日 2月26日(月)
3月4日(月)
3月11日(月)
時間 午後7時～9時
定員 20名

- ◆玉川勤労者体育センター会場
開催日 2月27日(火)
3月5日(火)
3月12日(火)
時間 午後7時～9時
定員 20名

◆定員になり次第締め切らせていただきます。

申し込みやお問い合わせは、村公民館まで。

税務署

平成7年分の確定申告 日程のお知らせ

須賀川税務署の納税相談

区分	期間	場所
営業所得者	2月16日～3月15日	3階相談会場
その他所得者	2月16日～3月15日	〃
還付申告	1月4日～2月2日 2月2日～3月18日	3階カウンター プレハブ会場
資産税(譲渡等)	2月6日～3月15日	3階相談会場
消費税	2月16日～3月15日 3月18日～4月1日	〃 3階カウンター

東北税理士会須賀川支部による 無料納税相談

期間	会場
2月28日～3月12日(土・日・月曜日を除く)	須賀川市産業会館
3月13日～3月15日	税務署 3階

★還付申告は、いつでも税務署で受付けています。
★申告期限の3月15日が近づくと、税務署は大変込み合いますので、申告書は早めに提出してください。

申告手続きなど、詳しくはお気軽に須賀川税務署 ☎0248-75-2194までお尋ねください。

福祉

「人にやさしいまちづくり条例」による届出

■平成8年4月1日から義務づけられます。

人にやさしいまちづくり条例の内容
●高齢者や障害者の方をはじめすべての人が、安全で快適に暮らせるまちづくりの推進。
●スロープや車いす使用者用トイレ設置、点字ブロック敷設などの施設整備の基準

○届出～指定施設を新たに設置したり、増改築する場合は、着工の30日前までに、その工事の計画を、市町村の建築確認申請の受付係を通じて知事に届出てください。

届出の必要なおも指定施設

- | | |
|----------|--|
| すべて対象 | <ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉施設●医療機関 ●薬局●集会場●金融機関 ●学校●公共交通機関施設 ●官公庁舎●電気ガス事業所 ●道路 ●公園 |
| 一定規模以上対象 | <ul style="list-style-type: none"> ●理美容所●物販店●飲食店 ●公衆浴場●ホテル旅館●映画館 ●遊技場●体育館●事務所 ●サービス事業を営む店舗 ●共同住宅 ●各施設の複合施設●営業駐車場 |

詳しくは、県庁長寿社会対策室 ☎0245-21-7277または、役場建設課・住民課までお問い合わせください。

人事

村職員 ■ 人事異動

1月1日付()は前職名

- ◆須釜支所長 関根 英夫 (農業委員会事務局長)
- ◆総務課主事補 野崎 敦子 (企画調整課主事補)
- ◆農業委員会事務局長【兼任】 三吉 隆之 (農政課長)
- ◆水道課主事補 塩田 誠 (住民課主事補)

問われる ペット犬 飼い主のマナー!

犬はマナーを守って飼いましょう!!

最近、犬による被害などの苦情が多く寄せられています。
●散歩中の犬や放し飼いの犬などに、畑を荒らされて困る。
●民家の前でフンをさせ、そのまま行ってしまう。
●放し飼いの犬が、物をくわえていってしまう。



思い出のアルバム ③②

「67年前の卒業式」

中の小林富重さん(77歳)から提供されたこの写真は、矢吹町須乗新田に住む坂路キヨさん(旧姓真弓、蒜生出身)所有のもので、昭和5年3月旧泉村立小高尋常高等小学校6年生の卒業記念の写真だそうです。

「コン時担任だったのが矢吹広実先生(故人・写真最後列中央で、当時21か22ぐらいで、ワシらが初めての教え子だったんではないかなア」と語る富重さんは、写真前から3列目の右から4番目に写っています。その右側が故車田忠次さん(小高)で、体が大きくてかなり腕白だったそうです。同じ列で右端の眼帯をしている人は小高の本田吉之助さんだそうです。岩法寺の大竹金一さん(上から2列目の左から5人目)の顔も見えます。前列中央背広の人が校長の故迎治助氏で、右側は当時の泉村長だった故車田幸助氏です。その二人の間で立っている人が写真所有者のキヨさんだそうです。前から2列目左から3人目の色白の人は「当時話題になった」故本間ミチ先生で、後に広実先生と結婚されたそうです。ちなみに本間先生が年上でした。

たまかわの皆さん
お元気ですか

—東京玉川会員だより—

『思い出の結婚式』

埼玉県川越市
大野勝良さん(南須釜出身)



1月1日、私(前列右)の56歳の誕生日に家族と

立春とは名ばかり、毎日寒い日が続いておりますが、玉川村の皆様お元気でしょうか。

私は、昭和三十年三月、雪の降る須釜村を後に上京いたしました。東京は広く、右も左も分からずに毎日涙を流した事を思い出します。(当時十五歳)

その後、昭和三十九年三月東京オリンピックの年に、結婚いたしました。当時、婦人会の会長をしていた母が「これからの結婚式は、式場で簡素化」というのをテーマにしておりますので、それまでの自宅で挙げる結婚式から、役場の集会施設へと場所を変えて行い、8ミリカメラで式の様子を撮影などして、村へ宣伝をしました。そのとき、友人代表で挨拶をしてい

ただいたのが、同級生で現在の村の助役である小針君でした。子どもが生まれるまでの三年間を東京で過ごし、昭和四十二年長女が生まれて間もなく、「小江戸」と呼ばれる川越の古き良き街に住居を構え、現在にいたっております。近くには長女夫婦と孫が住んでおり、次女は看護婦をしていて、自宅から通勤しています。

私も、東京玉川会総会には一回目から出席し、毎年楽しみにしております。皆様もぜひ一度、古き良き川越の街にいらしてください。

最後に、皆様の御健康と、村の御発展を心からお祈り申し上げます。